



# 学校だより 青い鳥

平成30年度1月号  
さいたま市立上落合小学校  
平成31年1月8日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381  
<http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/> E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



## テーパード

校長 藤澤 太郎

新年あけましておめでとうございます。本格的な冬となり、吐く息の白さや、空気の乾燥に、思わず尻込みすることが多くなりますね。とは、大人の感覚で、子どもは元気！元気！寒ければ寒いなりに、何か楽しいことや面白いことを探して見つけてきます。これを休み時間の中で完結させるのですから、大人より時間や課題に対するマネジメントの力があるのではないかと見ています。(大人も趣味では力を発揮します。) 本年もよろしくお願いたします。

今年には新元号元年となりますね。そう言えば、平成元年の時は？この時のことをよく覚えていない～というのが正直なところ。私自身は、教員になって間もない頃で、その時の生徒や社会への意識やら考え方など、だいたい忘れてしまっています。そもそも日記などつけてもいませし、多分、私は日々の授業や部活動に明け暮れていて、明確な目標などはもっていなかったのではないかと、30年前の自分を想像しています。そしてこのことは勝手に想像しているだけで、当時の自分の書いたものなんかを読んでみると、赤面ものが多数あり！これはこれで納得する自分が見つからなくて(ひどい内容で)、「良かった！」と喜んでいるところもあります。

過去の自分は、自分で勝手に脚色して思い込んでいる部分が多くありそうです。実際は、丁度、針先ほどの記憶の断片がいくつか出てくるだけです。まるで望遠鏡を反対側からのぞくようなものです。おまけにのぞいている太いほうの面が落ち着かないので、思い出す毎に様々な点が出てきます。それが線にはならないし面にもなりえません。(昔撮った写真は説得力がありますね。)

一方、子どもの学びを見ているとまったく順調です。すごいな！と思います。例えば、先生の先生が言っている、「過去を学んで未来を知る」のような話があります。子どもは、正しいほうから望遠鏡をのぞけていますし、足場もしっかりとしているので、未来に大きな夢を膨らませているなと見て取れます。そして、子どもは、大きな可能性をもって成長していますし、広がりを持ちながら進んでいるなという風に考えられます。ですから、周りの大人は、うらやましいやら期待するやらで、自然と応援したくなりますよね。

ところで、平成元年頃の記憶、、、半島周りで投げ釣りをしていました。その時使った道糸が0.8号～6号のテーパーラインでした。これは、様々な投げ釣りの事情で、遠くに行く糸ほど太くなっているもので、遠くの方で根がかりしようものなら「ウーッス」となるわけです。寒さをこらえて、微かな魚信を待っている間が釣り人にとっては至福の時であり、夜空や朝焼けなど楽しむ余裕はありません。手元のリールに巻かれた糸と同化(同期)して、テーパーの先の天秤と仕掛けが頭の中で立体化・映像化しているわけです。そして、魚が引っ張る → リールを巻く → 寄せてきて → 玉網へ → 「やった～！」一瞬の出来事です。未明のコダマに、気が付いたら姿の見えない同志から祝福が！「お～い、フエフキだろ～？ おっきいか～？」 → 「いえいえ、そでほどでも～！(寒さと嬉しさで口が回りません)」こんな時は、テーパーの細いほうから先が見えているようです。しかし、その逆は？ 記憶の先にあるものは何だか分かりませぬね。

平成から変わるものと引き継ぐものを明確に！と考えることも必要なのですが、想像力を働かせて夢を持つことも大切と考えます。子どもたちにとって、明るく豊かな未来がもてる良い年になるよう、皆で力を合わせていきましょう。

## 学校教育目標

あかるく なかよく たくましく